

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	無期限（設定日：2018年1月24日）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の株式に投資することにより、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 グローバルEV関連株マザーファンド 世界の金融商品取引所に上場する株式
当ファンドの運用方法	■マザーファンドへの投資を通じて、EV（電気自動車）関連企業の株式に実質的に投資することで、信託財産の成長を目指します。 ■マザーファンドにおける運用指図にかかる権限を、ロベコ・スイス・エージーへ委託します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 グローバルEV関連株マザーファンド ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年2回（原則として毎年1月および7月の23日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

グローバルEV関連株 ファンド(為替ヘッジなし)

【愛称:EV革命】

【運用報告書(全体版)】

(2023年7月25日から2024年1月23日まで)

第 **12** 期

決算日 2024年1月23日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主に世界の株式に投資することにより、信託財産の成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

グローバルE V関連株ファンド（為替ヘッジなし）【愛称：E V革命】

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) MSCIワールド・インデックス (税引き後配当込み、円換算ベース)	株式組入率 比	純資産額
	(分配落)	税分配金	期中騰落率			
8期(2022年1月24日)	円 15,554	円 0	% 0.7	150.00	% 2.0	% 94.6
9期(2022年7月25日)	16,105	0	3.5	159.16	6.1	97.8
10期(2023年1月23日)	15,221	0	△ 5.5	156.00	△ 2.0	97.0
11期(2023年7月24日)	18,353	1,000	27.1	191.99	23.1	96.6
12期(2024年1月23日)	16,192	0	△11.8	212.62	10.7	95.8

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※参考指数は、当報告書作成時に知れた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) MSCIワールド・インデックス (税引き後配当込み、円換算ベース)	株式組入率 比
	騰落率	騰落率		
(期首) 2023年7月24日	円 18,353	% —	191.99	% 96.6
7月末	18,763	2.2	192.70	0.4
8月末	17,736	△ 3.4	195.81	2.0
9月末	16,836	△ 8.3	191.56	△ 0.2
10月末	14,808	△19.3	184.99	△ 3.6
11月末	16,458	△10.3	199.17	3.7
12月末	16,891	△ 8.0	202.75	5.6
(期末) 2024年1月23日	16,192	△11.8	212.62	10.7

※騰落率は期首比です。

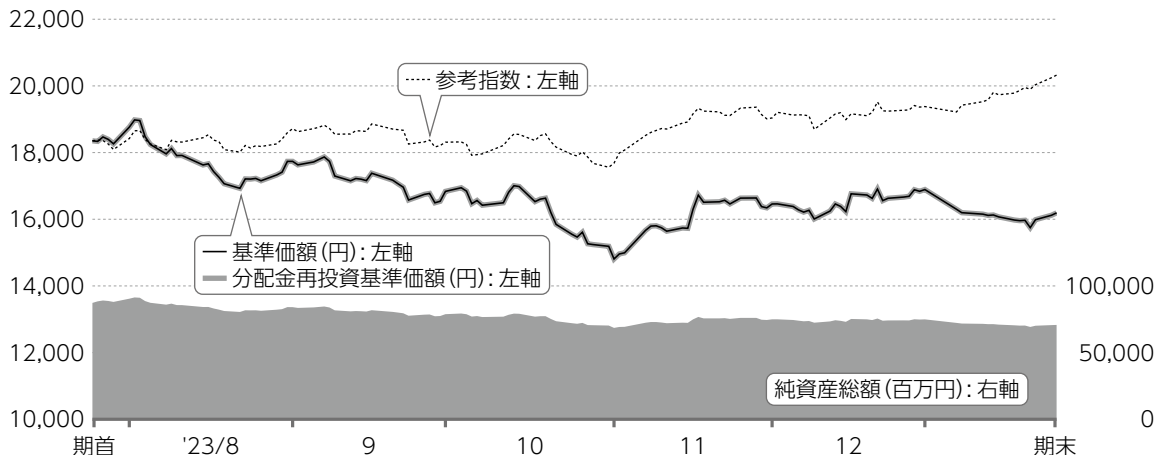
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2023年7月25日から2024年1月23日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	18,353円
期末	16,192円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	-11.8% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、MSCIワールド・インデックス(税引き後配当込み、円換算ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因(2023年7月25日から2024年1月23日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、世界の株式の中から、EV(電気自動車)関連企業の株式に実質的に投資を行いました。実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因

- 消費減速への懸念が後退し、自動車向け売上げが大幅に増加したことを受け、クアルコムの株価が上昇したこと
- 高機能電池や高付加価値製品の売上げが引き続き好調で利益率も向上したTDKの株価が上昇したこと
- 力強い成長と利益率の拡大が評価され、その傾向が継続することに市場の期待が集まったシュナイダーエレクトリックの株価が上昇したこと

下落要因

- リチウム価格下落の影響を受け、リチウム生産大手のアルベマールの株価が下落したこと
- EVへの政府補助金削減やEVメーカーの収益性低下によるバッテリー業界への悪影響などが懸念されサムスンSDIの株価が下落したこと
- 製品の追加値下げで収益性低下が懸念されたBYDの株価が下落したこと

投資環境について（2023年7月25日から2024年1月23日まで）

期間におけるグローバル株式市場は上昇しました。また為替市場では、米ドルに対して円安となりました。

グローバル株式市場

グローバル株式市場は年末にかけて大幅に上昇しました。期間を通じてインフレと利上げが懸念されましたが、米国でインフレが鈍化し始めると利上げがピークアウトしたとの見方が広がり、投資家心理は大幅に改善しました。特にA I関連銘柄の強気な見通しに注目が集まり、情報技術セクターの株価が大幅に上昇しました。E Vのテーマは引き続き魅力的でした。自動車産業の電動化に向けた変革は勢いを維持しており、E V関連市場は引き続き拡大しました。

為替市場

期間の初めと比較して期間末の円相場は、米ドルに対して円安となりました。米ドル・円相場は日米の金融政策見通しに大きく影響を受けました。11月以降はF R B（米連邦準備制度理事会）による利下げ観測の高まりや日銀による金融緩和策の修正観測などにより一時的に円高基調となりましたが、期間全体では円安となりました。

ポートフォリオについて（2023年7月25日から2024年1月23日まで）

当ファンド

期間を通じて「グローバルEV関連株マザーファンド」を高位に組み入れました。

グローバルEV関連株マザーファンド

●株式組入比率

株式組入比率を高位に維持しました。

●国別配分

米国、フランス、日本などを組入上位としました。

●通貨別配分

米ドル、ユーロ、円などを組入上位としました。

●業種配分

EV向け半導体や電子部品関連を中心に、主に情報技術や資本財・サービス、一般消費財・サービスなどのセクターに投資しました。

●個別銘柄

オンライン鉄道チケット販売会社であるトレインラインを新規購入しました。また中国のEV向けバッテリーメーカーである

CATLなどを追加購入しました。一方で中国のEVメーカーであるNIOをすべて売却し、自動車や医療向け熱管理システムなどを手がける米国のジェンサムを一部売却しました。

●ポートフォリオの特性

EVの普及によって業績面で恩恵を受ける企業に注目し、株価の魅力度（投資価値評価）にも留意し運用しました。

インフィニオン・テクノロジーズ

自動車産業向けのパワー半導体、センサー、マイクロコントローラのマーケット・リーダーです。製品はEVのみならず、電力管理、エネルギー効率化技術などでも使用され、エネルギー効率化、再生可能エネルギー開発、産業オートメーション、EVインフラ開発を促進しています。技術革新やインフラ持続可能性のアップグレード、クリーン・テクノロジーや産業プロセスへの幅広い活用などを通じて生産性を向上させています。SDGs（持続可能な開発目標）では、8（働きがいも経済成長も）と9（産業と技術革新の基盤を作ろう）に貢献しています。

組入上位銘柄

アナログ・デバイスズ

アナログおよびデジタル信号処理に使用される集積回路を設計、製造、および販売するグローバルな集積回路メーカーです。EVにバッテリーの監視・管理用製品を提供していることに加え、通信基地局の装置や工場のデジタル化ならびに自動化、エネルギー管理などにも注力しています。エネルギー効率、コネクティビティ、工場の歩留まりの向上などに貢献しています。半導体製造技術の先駆者として、エネルギー効率が高く環境に優しい設計と施工のための技術革新を可能としていることから、SDGsでは8（働きがいも経済成長も）と9（産業と技術革新の基盤を作ろう）に貢献しています。

●ESGを主要な要素として選定する投資対象への組入比率(対純資産総額、時価ベース)

投資テーマに関連する銘柄のうち相対的にSDGs貢献度が高い銘柄の組入比率は、原則として、純資産総額の90%以上とします。2023年12月末時点の実際の組入比率は94.9%です。

●ESGを主要な要素とする投資戦略に関連するステewardシップ方針およびその方針に沿って実施した行動について

当マザーファンドの実質的な運用を担うロベコ・スイス・エーゲー(以下、『ロベコ』といいます。)のステewardシップ方針およびその方針に沿って実施した行動の主な内容は以下の通りです。

ステewardシップ方針

- ロベコは、サステナブル投資を企業戦略の基軸としており、持続可能な商慣行を伴う企業は比較優位性を有し、長期的により高い成果を上げると確信しています。
- ステewardシップ責任を果たすことは、ロベコのサステナブル投資アプローチにおいて不可欠と考えています。
- ロベコは、お客様ニーズに適合するよう様々な戦略や投資目的をもって資産を管理していますが、「環境、社会およびすべてのステークホルダーに対して持続可能な方法で取り組む企業(お

よび国)は、今後の事業または試みにおける多様な問題に、より対処できる可能性が高い」という全社的な哲学を有している点では共通しています。

- ロベコは資産運用会社として、一連の方針を通じてこの哲学の具体化に取り組んでいます。
- ・E S G (環境・社会・ガバナンス) 統合
- ・議決権行使
- ・投資先企業へのエンゲージメント
- ・投資除外および行動規範

スチュワードシップ方針に沿って実施した主な内容

2022年1月1日から2022年12月31日の期間において、ロベコが実施したエンゲージメントの主な内容は以下の通りです。

エンゲージメントについて

- 実施件数：252件(エンゲージメントの内容別)
- 実施対象企業数：215社
- 成功事例となった割合：72%

議決権行使について

- 権利行使した株主総会数：7,422社
- 権利行使した議案総数：77,193件
- 会社側提案に反対した割合：60%

なお、ロベコのスチュワードシップ方針とエンゲージメント活動についての詳細は、下記ウェブサイトを参照ください。

(日本語) スチュワードシップ・コードへの対応方針 | Robeco Japan

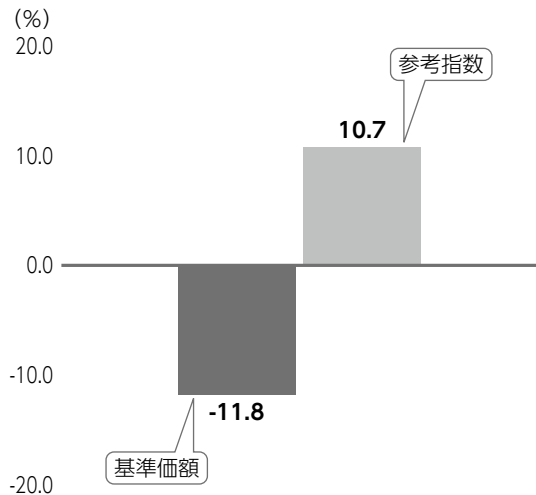
<https://www.robeco.com/jp-jp/response-policies-for-stewardship-cord>

(英語) Active Ownership | Robeco Global

<https://www.robeco.com/en-int/sustainable-investing/influence/active-ownership>

ベンチマークとの差異について（2023年7月25日から2024年1月23日まで）

基準価額と参考指数の騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIワールド・インデックス(税引き後配当込み、円換算ベース)を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について（2023年7月25日から2024年1月23日まで）

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第12期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	8,320

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、「グローバルEV関連株マザーファンド」への投資を通じて、EV関連企業の株式に実質的に投資を行うことで、信託財産の成長を目指した運用を行います。

グローバルEV関連株マザーファンド

欧米のインフレは引き続き低下傾向にあるものの、当面は各国中央銀行のインフレ目標値を上回る水準にとどまる可能性は否めないと考えています。しかし金利がピークアウトするということは、自動車セクター、特に急速な金利上昇に苦戦した米国市場では株価水準を下支えすることが期待できます。産業用半導体の最終市場は在庫削減が続いていますが、一方で電力用パワートレイン(特にパワー半導体)市場は、低迷期を脱すると期待しています。自動車の電動化という長期的なトレンドは、EVにおける半導体の搭載量を高める原動力となり、過去数年間の自動車の供給不足と相まって、潜在的なマクロ経済の後退に対する強力なクッションとなると考えています。引き続き、EV化やコネクティビティ、自動運転を可能にするソフトウェアなど、EVに関連する成長テーマに着目しています。

3 お知らせ

約款変更について

- デリバティブ取引の利用目的の明確化と信託期間を無期限とすることに伴う約款変更を行いました。
(適用日：2023年10月20日)

グローバルE V関連株ファンド（為替ヘッジなし）【愛称：E V革命】

1万口当たりの費用明細（2023年7月25日から2024年1月23日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	150円	0.896%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">期中の平均基準価額は16,740円です。</div>
(投信会社)	(78)	(0.467)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(69)	(0.412)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.016)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.002	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(0)	(0.002)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	1	0.006	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(1)	(0.006)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(d) その他費用	4	0.023	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(4)	(0.021)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	155	0.928	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

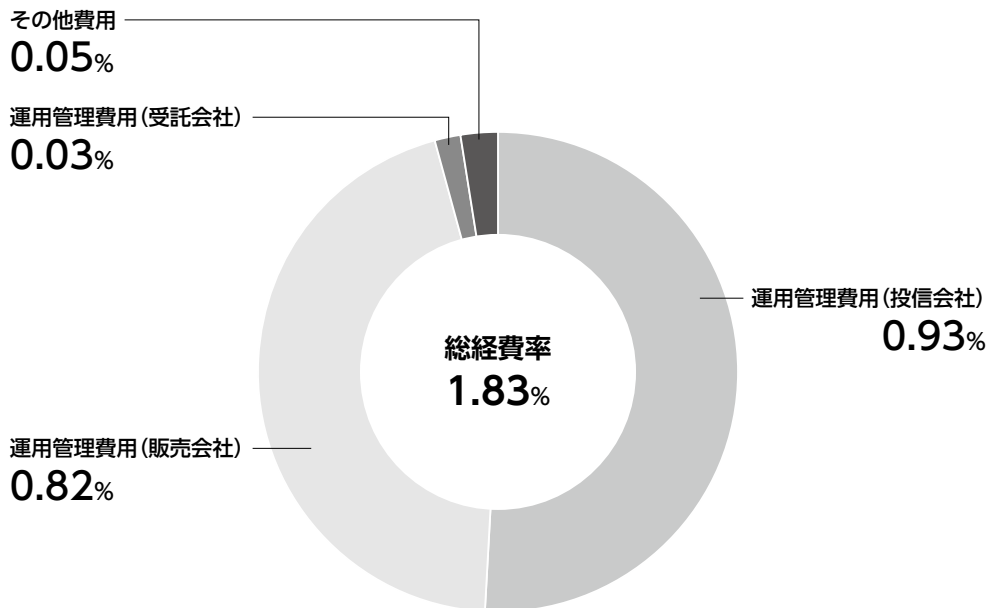
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.83%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況（2023年7月25日から2024年1月23日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバルEV関連株マザーファンド	千口 582,192	千円 1,303,166	千口 4,220,417	千円 8,646,829

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2023年7月25日から2024年1月23日まで）

項 目	当 期
	グ ロ ー バ ル E V 関 連 株 マ ザ ー フ ァ ン ド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	11,773,199千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	91,547,164千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.12

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等（2023年7月25日から2024年1月23日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

グローバルE V関連株ファンド（為替ヘッジなし）【愛称：E V革命】

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年7月25日から2024年1月23日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2024年1月23日現在)

親投資信託残高

種 類	期 首(前期末)	期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
グローバルE V関連株マザーファンド	38,907,400	35,269,175	70,584,200

※グローバルE V関連株マザーファンドの期末の受益権総口数は42,322,152,424口です。

■ 投資信託財産の構成

(2024年1月23日現在)

項 目	期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバルE V関連株マザーファンド	70,584,200	98.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,295,117	1.8
投 資 信 託 財 産 総 額	71,879,318	100.0

※グローバルE V関連株マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産（75,724,277千円）の投資信託財産総額（85,791,255千円）に対する比率は88.3%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=148.15円、1カナダ・ドル=109.96円、1香港・ドル=18.95円、1台湾・ドル=4.725円、1イギリス・ポンド=188.33円、1スイス・フラン=170.52円、1ノルウェー・クローネ=14.08円、100韓国・ウォン=11.09円、1オフショア・人民元=20.591円、1ユーロ=161.23円です。

グローバルE V関連株ファンド（為替ヘッジなし）【愛称：E V革命】

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年1月23日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	71, 879, 318, 380円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	355, 691, 797
グ ロー バ ル E V 関 連 株 マ ザ ー フ ァ ン ド (評 価 額)	70, 584, 200, 415
未 収 入 金	939, 426, 168
(B) 負 債	1, 126, 611, 519
未 払 解 約 金	431, 134, 706
未 払 信 託 報 酬	693, 858, 855
そ の 他 未 払 費 用	1, 617, 958
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	70, 752, 706, 861
元 本	43, 695, 549, 622
次 期 繰 越 損 益 金	27, 057, 157, 239
(D) 受 益 権 総 口 数	43, 695, 549, 622口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	16, 192円

※当期における期首元本額47,550,021,149円、期中追加設定元本額1,256,491,992円、期中一部解約元本額5,110,963,519円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2023年7月25日 至2024年1月23日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 23, 087円
受 取 利 息	1, 862
支 払 利 息	△ 24, 949
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 8, 679, 992, 548
売 買 益 損	749, 495, 166
売 買 損 益	△ 9, 429, 487, 714
(C) 信 託 報 酬 等	△ 695, 478, 764
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A + B + C)	△ 9, 375, 494, 399
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	28, 718, 492, 201
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	7, 714, 159, 437
(配 当 等 相 当 額)	(7, 636, 731, 657)
(売 買 損 益 相 当 額)	(77, 427, 780)
(G) 合 計 (D + E + F)	27, 057, 157, 239
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	27, 057, 157, 239
追 加 信 託 差 損 益 金	7, 714, 159, 437
(配 当 等 相 当 額)	(7, 638, 524, 850)
(売 買 損 益 相 当 額)	(75, 634, 587)
分 配 準 備 積 立 金	28, 718, 492, 201
繰 越 損 益 金	△ 9, 375, 494, 399

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託報酬の中から支弁している額は181,139,203円です。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	7, 638, 524, 850
(d) 分配準備積立金	28, 718, 492, 201
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	36, 357, 017, 051
1 万 口 当 た り 当 期 分 配 対 象 額	8, 320. 53
(f) 分配金	0
1 万 口 当 た り 分 配 金	0

■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 た り 分 配 金 (税 引 前)	当 期
	0円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

グローバルEV関連株マザーファンド

第6期（2023年1月24日から2024年1月23日まで）

信託期間	無期限（設定日：2018年1月24日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ■世界の株式の中から、EV（電気自動車）関連企業の株式を主要投資対象とします。 ■組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 ■運用指図にかかる権限をロベコ・スイス・エージーへ委託します。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) MSCIワールド・インデックス (税引き後配当込み、円換算ベース)		株式組入率 比	純資産額
	円	騰落率	騰落率	騰落率		
2期（2020年1月23日）	10,301	37.8%	111.78	24.5%	95.0%	124,574 百万円
3期（2021年1月25日）	17,884	73.6%	122.90	10.0%	97.4%	140,192
4期（2022年1月24日）	17,611	△1.5%	150.00	22.0%	96.3%	128,867
5期（2023年1月23日）	17,540	△0.4%	156.00	4.0%	96.9%	103,266
6期（2024年1月23日）	20,013	14.1%	212.62	36.3%	96.0%	84,698

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) MSCIワールド・インデックス (税引き後配当込み、円換算ベース)		株 式 組 入 率 比
		騰 落 率		騰 落 率	
(期 首) 2023年 1月23日	円 17,540	% —	156.00	% —	% 96.9
1月末	18,542	5.7	159.40	2.2	95.8
2月末	19,335	10.2	164.48	5.4	97.7
3月末	19,463	11.0	163.77	5.0	98.1
4月末	18,129	3.4	168.09	7.7	96.9
5月末	19,962	13.8	176.22	13.0	98.2
6月末	22,229	26.7	190.03	21.8	98.3
7月末	22,974	31.0	192.70	23.5	95.7
8月末	21,752	24.0	195.81	25.5	97.2
9月末	20,682	17.9	191.56	22.8	97.4
10月末	18,231	3.9	184.99	18.6	97.1
11月末	20,287	15.7	199.17	27.7	96.2
12月末	20,846	18.8	202.75	30.0	94.4
(期 末) 2024年 1月23日	20,013	14.1	212.62	36.3	96.0

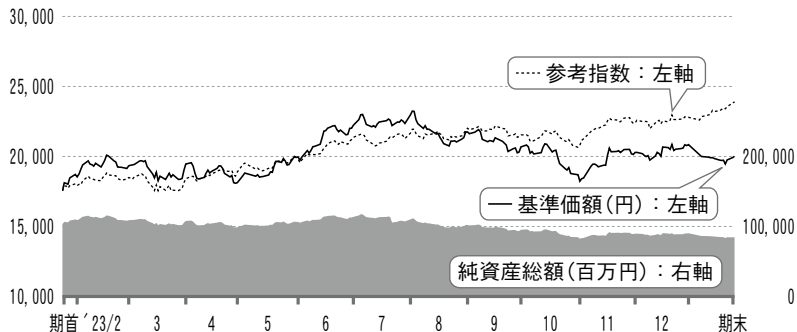
※騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2023年1月24日から2024年1月23日まで）

基準価額等の推移



期首	17,540円
期末	20,013円
騰落率	+14.1%

※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの参考指数は、MSCIワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）です。
 ※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

▶ 基準価額の主な変動要因（2023年1月24日から2024年1月23日まで）

当ファンドは、世界の株式の中から、EV（電気自動車）関連企業の株式に実質的に投資を行いました。

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> ・主力車種を中心とした販売台数増加による売り上げ増加が好感されテスラの株価が上昇したこと ・魅力的な株価水準に加え業績見通しの継続的な引き上げによりルネサスエレクトロニクスの株価が上昇したこと ・引き続き力強い増収と利益率拡大を続けていることに加え、今後の見通しも好感されNXPセミコンダクターズの株価が上昇したこと
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> ・リチウム価格が下落した影響を受け、リチウム生産大手のアルバマールやSQM（ソシエダード・キミカ・イ・ミネラ・デ・チリ）の株価が下落したこと ・EVへの政府補助金削減やEVメーカーの収益性低下によるバッテリー業界への悪影響などが懸念されサムスンSDIの株価が下落したこと

▶ 投資環境について（2023年1月24日から2024年1月23日まで）

期間におけるグローバル株式市場は上昇しました。また為替市場では、米ドルに対して円安となりました。

グローバル株式市場

グローバル株式市場は年末にかけて大幅に上昇しました。期間を通じてインフレとインフレによる利上げが懸念されていましたが、米国でインフレが鈍化し始めると利上げがピークアウトしたとの見方が市場に広がり、投資家心理は大幅に改善しました。特にAI関連銘柄の強気な見通しに注目が集まり、情報技術セクターの株価が大幅に上昇しました。EVのテーマは引き続き魅力的でした。自動車産業の電動化に向けた変革は勢いを維持しており、EV関連市場は引き続き拡大しました。

為替市場

期間の初めと比較して期間末の円相場は、米ドルに対して円安となりました。米ドル・円相場は日米の金融政策見通しに大きく影響を受けました。米国が利上げを継続したことに対し、日銀がイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）を維持し低金利政策を継続したことから、年初より大幅な円安が進みました。11月以降はFRB（米連邦準備制度理事会）による利下げ観測の高まりや日銀による金融緩和策の修正観測などにより一時的に円高基調となりましたが、期間全体では円安となりました。

▶ ポートフォリオについて（2023年1月24日から2024年1月23日まで）

株式組入比率

株式組入比率を高位に維持しました。

国別配分

米国、フランス、日本などを組入上位としました。

通貨別配分

米ドル、ユーロ、円などを組入上位としました。

業種配分

E V向け半導体や電子部品関連中心に、主に情報技術や資本財・サービス、一般消費財・サービスを中心に投資しました。

個別銘柄

オンライン鉄道チケット販売会社のトレインラインやイタリアの電動部品製造会社であるユーログループ・ラミネーションズ、また米国のリチウム鉱山会社であるリベントを新規購入しました。リベントはオーストラリアのオールケムと合併し足元ではアルカジウム・リチウムとして保有しています。また中国のE V向けバッテリーメーカーであるCATLなどを追加購入しました。一方で中国のE VメーカーであるNIOやドイツの太陽光発電システムを手掛けるSMAソーラー・テクノロジー、ニデック（旧日本電産）などをすべて売却しました。

ポートフォリオの特性

E Vの普及によって業績面で恩恵を受ける企業に注目し、株価の魅力度（投資価値評価）にも留意し運用しました。

インフィニオン・テクノロジーズ

自動車産業向けのパワー半導体、センサー、マイクロコントローラのマーケット・リーダーです。製品はE Vのみならず、電力管理、エネルギー効率化技術などでも使用され、エネルギー効率化、再生可能エネルギー開発、産業オートメーション、E Vインフラ開発を促進しています。技術革新やインフラの持続可能性のアップグレード、クリーン・テクノロジーや産業プロセスへの幅広い活用などを通じて生産性を向上させています。SDGs（持続可能な開発目標）では、8（働きがいも経済成長も）と9（産業と技術革新の基盤を作ろう）に貢献しています。

組入上位銘柄

アナログ・デバイス

アナログおよびデジタル信号処理に使用される集積回路を設計、製造、および販売するグローバルな集積回路メーカーです。E Vにバッテリーの監視・管理用製品を提供していることに加え、通信基地局の装置や工場のデジタル化ならびに自動化、エネルギー管理などにも注力しています。エネルギー効率、コネクティビティ、工場の歩留まりの向上などに貢献しています。半導体製造技術の先駆者として、エネルギー効率が高く環境に優しい設計と施工のための技術革新を可能としていることからSDGsでは8（働きがいも経済成長も）と9（産業と技術革新の基盤を作ろう）に貢献しています。

ESGを主要な要素として選定する投資対象への組入比率（対純資産総額、時価ベース）

投資テーマに関連する銘柄のうち相対的にSDGs貢献度が高い銘柄の組入比率は、原則として、純資産総額の90%以上とします。2023年12月末時点の実際組入比率は94.9%です。

ESGを主要な要素とする投資戦略に関連するスチュワードシップ方針およびその方針に沿って実施した行動について

当ファンドの実質的な運用を担うロベコ・スイス・エージー（以下、『ロベコ』といいます。）のスチュワードシップ方針およびその方針に沿って実施した行動の主な内容は以下の通りです。

スチュワードシップ方針

- ロベコは、サステナブル投資を企業戦略の基軸としており、持続可能な商慣行を伴う企業は比較優位性を有し、長期的により高い成果を上げると確信しています。
- スチュワードシップ責任を果たすことは、ロベコのサステナブル投資アプローチにおいて不可欠と考えています。
- ロベコは、お客様ニーズに適合するよう様々な戦略や投資目的をもって資産を管理していますが、「環境、社会およびすべてのステークホルダーに対して持続可能な方法で取り組む企業（および国）は、今後の事業または試みにおける多様な問題に、より対処できる可能性が高い」という全社的な哲学を有している点では共通しています。
- ロベコは資産運用会社として、一連の方針を通じてこの哲学の具体化に取り組んでいます。
 - ・ ESG（環境・社会・ガバナンス）統合
 - ・ 議決権行使
 - ・ 投資先企業へのエンゲージメント
 - ・ 投資除外および行動規範

スチュワードシップ方針に沿って実施した主な内容

2022年1月1日から2022年12月31日の期間において、ロベコが実施したエンゲージメントの主な内容は以下の通りです。

エンゲージメントについて

■実施件数：252件（エンゲージメントの内容別）

■実施対象企業数：215社

■成功事例となった割合：72%

議決権行使について

■権利行使した株主総会数：7,422社

■権利行使した議案総数：77,193件

■会社側提案に反対した割合：60%

なお、ロベコのスチュワードシップ方針とエンゲージメント活動についての詳細は、下記ウェブサイトを参照ください。

（日本語）スチュワードシップ・コードへの対応方針 | Robeco Japan

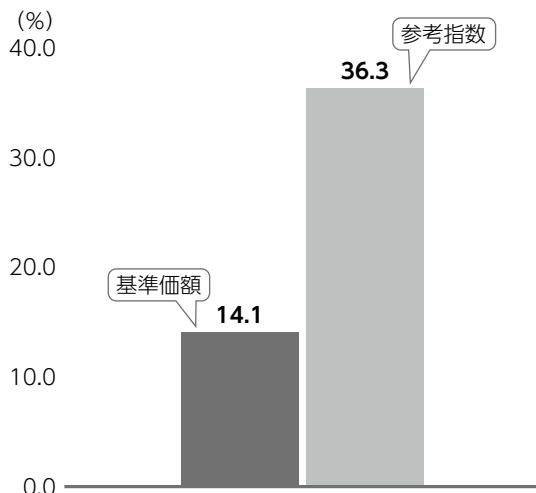
<https://www.robeco.com/jp-jp/response-policies-for-stewardship-cord>

（英語）Active Ownership | Robeco Global

<https://www.robeco.com/en-int/sustainable-investing/influence/active-ownership>

▶ ベンチマークとの差異について (2023年1月24日から2024年1月23日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

2 今後の運用方針

欧米のインフレは引き続き低下傾向にあるものの、当面は各国中央銀行のインフレ目標値を上回る水準にとどまる可能性は否めないと考えています。しかし金利がピークアウトするということは、自動車セクター、特に急速な金利上昇に苦戦した米国市場では株価水準を下支えすることが期待できます。産業用半導体の最終市場は在庫削減が続いていますが、一方で電力用パワーレイン（特にパワー半導体）市場は、低迷期を脱すると期待しています。自動車の電動化という長期的なトレンドは、EVにおける半導体の搭載量を高める原動力となり、過去数年間の自動車の供給不足と相まって、潜在的なマクロ経済の後退に対する強力なクッションとなると考えています。引き続き、EV化やコネクティビティ、自動運転を可能にするソフトウェアなど、EVに関連する成長テーマに着目しています。

■ 1万口当たりの費用明細 (2023年1月24日から2024年1月23日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	2円 (2)	0.010% (0.010)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	3 (3)	0.017 (0.017)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	9 (9) (1)	0.046 (0.042) (0.004)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送入金・資産の移転等に要する費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	15	0.073	

期中の平均基準価額は20,221円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

グローバルE V関連株マザーファンド

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2023年1月24日から2024年1月23日まで)

株 式

		買 付		売 付			
		株 数	金 額	株 数	金 額		
国 内	上 場	千株 — (520.8)	千円 — (—)	千株 1,410.7	千円 5,088,559		
		百株 8,397.7 (11,515.37)	千アメリカ・ドル 55,164 (24,110)	百株 23,542.38	千アメリカ・ドル 160,504		
外 国	ア メ リ カ	百株 —	千カナダ・ドル —	百株 1,780.6	千カナダ・ドル 989		
	カ ナ ダ	百株 —	千香港・ドル —	百株 2,485	千香港・ドル 59,140		
	香 港	百株 1,010	千台湾・ドル —	百株 16,260	千台湾・ドル 464,776		
	台 湾	百株 — (560.44)	千イギリス・ポンド 1,873	百株 5,860	千イギリス・ポンド 400		
	イ ギ リ ス	百株 6,470.75	千スイス・フラン —	百株 4,269	千スイス・フラン 13,857		
	ス イ ス	百株 —	千ノルウェー・クローネ —	百株 206.3	千ノルウェー・クローネ 174		
	ノ ル ウ ェ ー	百株 —	千韓国・ウォン —	百株 1,402.19	千韓国・ウォン 33,467,979		
	韓 国	百株 —	千オフショア・人民元 61,349 (—)	百株 789	千オフショア・人民元 16,557		
	中 国	百株 2,334.4 (1,881.59)	千ユーロ —	百株 150	千ユーロ 684		
	ユ ー ロ	百株 — (△ 5,897)	—	—	2,287.07	20,874	
	国	オ ラ ン ダ	—	—	—	3,941	20,198
		フ ラ ン ス	—	—	—	2,680	1,072
		ド イ ツ	—	—	—	—	—
	イ タ リ ア	14,863.81	8,115				

※金額は受渡し代金。

※()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2023年1月24日から2024年1月23日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	54,362,141千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	98,197,949千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.55

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2023年1月24日から2024年1月23日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2023年1月24日から2024年1月23日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2024年1月23日現在)

(1) 国内株式

銘 柄	期首(前期末)	期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
電気機器 (100.0%)			
ニデック	245.1	—	—
ルネサスエレクトロニクス	2,101	1,443.1	3,774,428
パナソニック ホールディングス	1,014	729.4	1,006,572
T D K	408.9	300.9	2,244,112
ローム	203.7	609.4	1,668,537
	千株	千株	千円
合 計	株 数・金 額	株 数	評 価 額
	3,972.7	3,082.8	8,693,649
	銘 柄 数<比率>	4銘柄	<10.3%>
	5銘柄		

※銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

※< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

グローバルE V関連株マザーファンド

(2) 外国株式

銘柄	期首(前期末)		期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価	額	
	株 数	株 数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
MONOLITHIC POWER SYSTEMS INC	335	126.92	8,094	1,199,192	半導体・半導体製造装置
TE CONNECTIVITY LTD	2,192	1,648.4	21,956	3,252,883	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ITRON INC	1,045	777.7	5,977	885,552	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ALBEMARLE CORP	1,151	996.7	12,035	1,783,007	素材
ON SEMICONDUCTOR	4,427	2,255.5	16,959	2,512,491	半導体・半導体製造装置
POWER INTEGRATIONS INC	1,783	775.4	6,386	946,229	半導体・半導体製造装置
QUALCOMM INC	1,827	1,418.75	21,688	3,213,141	半導体・半導体製造装置
TESLA INC	1,153	1,038.45	21,682	3,212,312	自動車・自動車部品
STMICROELECTRONICS NV-NY SHS	—	4,742	21,495	3,184,556	半導体・半導体製造装置
TEXAS INSTRUMENTS INC	1,420.24	1,288.84	22,532	3,338,232	半導体・半導体製造装置
TERADYNE INC	872	841.64	9,265	1,372,700	半導体・半導体製造装置
ANALOG DEVICES INC	1,822.8	1,439.55	28,403	4,208,017	半導体・半導体製造装置
GENTHERM INC	2,019.1	1,026.21	4,978	737,512	自動車・自動車部品
APTIV PLC	2,482.5	1,902.5	15,220	2,254,843	自動車・自動車部品
NXP SEMICONDUCTORS NV	1,773	1,048.35	22,942	3,398,870	半導体・半導体製造装置
QUIMICA Y MINERA CHIL-SP ADR	3,522	3,099.5	14,834	2,197,687	資本財
NIO INC - ADR	6,095	—	—	—	自動車・自動車部品
XPENG INC - ADR	14,660	11,030	10,302	1,526,244	自動車・自動車部品
ARCADIUM LITHIUM PLC	—	9,614.37	5,047	747,793	素材
AMBARELLA INC	2,000	1,879.55	10,713	1,587,195	半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 <比率>	50,579.64 18銘柄	46,950.33 19銘柄	280,516 —	41,558,464 <49.1%>
(カナダ)	百株	百株	千カナダ・ドル	千円	
BALLARD POWER SYSTEMS INC	8,650	6,869.4	2,953	324,804	資本財
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 <比率>	8,650 1銘柄	6,869.4 1銘柄	2,953 —	324,804 <0.4%>
(香港)	百株	百株	千香港・ドル	千円	
BYD CO LTD-H	9,815	8,340	159,210	3,017,040	自動車・自動車部品
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 <比率>	9,815 1銘柄	8,340 1銘柄	159,210 —	3,017,040 <3.6%>
(台湾)	百株	百株	千台湾・ドル	千円	
BIZLINK HOLDING INC	17,170	12,450.44	299,433	1,414,851	資本財
DELTA ELECTRONICS INC	32,520	24,380	709,458	3,352,259	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
CHROMA ATE INC	11,480	8,640	186,624	881,817	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 <比率>	61,170 3銘柄	45,470.44 3銘柄	1,195,515 —	5,648,928 <6.7%>
(イギリス)	百株	百株	千イギリス・ポンド	千円	
TRAINLINE PLC	—	6,470.75	2,046	385,332	消費者サービス
ITM POWER PLC	18,450	12,590	567	106,935	資本財
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 <比率>	18,450 1銘柄	19,060.75 2銘柄	2,613 —	492,268 <0.6%>
(スイス)	百株	百株	千スイス・フラン	千円	
STADLER RAIL AG	4,153	3,041	8,338	1,421,867	資本財

グローバルE V関連株マザーファンド

銘柄	株数	金額	期		末		業種等
			株数	金額	外貨建金額	邦貨換算金額	
ABB LTD-REG	7,240	4,083	14,804	2,524,541	資本財		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	11,393 2銘柄	7,124 2銘柄	23,143	3,946,409	<4.7%>	
(ノルウェー) EVERFUEL A/S	百株 4,000	百株 3,793.7	千ノルウェー・クローネ 3,186	千円 44,868	エネルギー		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	4,000 1銘柄	3,793.7 1銘柄	3,186	44,868	<0.1%>	
(韓国) HL MANDO CO LTD LG ENERGY SOLUTION SAMSUNG SDI CO LTD LG CHEM LTD	百株 3,553 387.3 602.8 241.1	百株 2,609.5 305 289.5 178.01	千韓国・ウォン 8,859,252 11,346,000 10,364,100 6,888,987	千円 982,491 1,258,271 1,149,378 763,988	自動車・自動車部品 資本財 テクノロジー・ハードウェアおよび機器 素材		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	4,784.2 4銘柄	3,382.01 4銘柄	37,458,339	4,154,129	<4.9%>	
(中国) CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A	百株 1,861.99	百株 5,288.98	千オフショア・人民元 82,328	千円 1,695,278	資本財		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,861.99 1銘柄	5,288.98 1銘柄	82,328	1,695,278	<2.0%>	
(ユーロ・・・オランダ) STMICROELECTRONICS NV	百株 6,047	百株 -	千ユーロ -	千円 -	半導体・半導体製造装置		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	6,047 1銘柄	-	-	-	<->	
(ユーロ・・・フランス) SCHNEIDER ELECTRIC SE LEGRAND SA DASSAULT SYSTEMES SE	百株 1,984.07 1,606 3,530	百株 1,209.5 979.5 2,644	千ユーロ 21,771 8,933 12,462	千円 3,510,138 1,440,274 2,009,327	資本財 資本財 ソフトウェア・サービス		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	7,120.07 3銘柄	4,833 3銘柄	43,166	6,959,740	<8.2%>	
(ユーロ・・・ドイツ) INFINEON TECHNOLOGIES AG SMA SOLAR TECHNOLOGY AG	百株 9,970 1,450	百株 7,479 -	千ユーロ 25,918 -	千円 4,178,835 -	半導体・半導体製造装置 半導体・半導体製造装置		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	11,420 2銘柄	7,479 1銘柄	25,918	4,178,835	<4.9%>	
(ユーロ・・・イタリア) EUROGROUP LAMINATIONS SPA	百株 -	百株 12,183.81	千ユーロ 3,952	千円 637,249	資本財		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	- -	12,183.81 1銘柄	3,952	637,249	<0.8%>	
ユーロ通貨計	株数・金額 銘柄数<比率>	24,587.07 6銘柄	24,495.81 5銘柄	73,037	11,775,825	<13.9%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	195,290.9 38銘柄	170,775.42 39銘柄	-	72,658,018	<85.8%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■ 投資信託財産の構成

(2024年1月23日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 81,351,668	% 94.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,439,586	5.2
投 資 信 託 財 産 総 額	85,791,255	100.0

※期末における外貨建資産（75,724,277千円）の投資信託財産総額（85,791,255千円）に対する比率は88.3%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=148.15円、1カナダ・ドル=109.96円、1香港・ドル=18.95円、1台湾・ドル=4.725円、1イギリス・ポンド=188.33円、1スイス・フラン=170.52円、1ノルウェー・クローネ=14.08円、100韓国・ウォン=11.09円、1オフショア・人民元=20.591円、1ユーロ=161.23円です。

グローバルE V関連株マザーファンド

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年1月23日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	86,602,164,918円
コール・ローン等 株 式(評価額)	4,292,734,541
未 収 入 金	81,351,668,374
(B) 負 債	1,903,169,080
未 払 金	957,762,003
未 払 解 約 金	1,903,169,080
そ の 他 未 払 費 用	983
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	84,698,995,838
元 本	42,322,152,424
次 期 繰 越 損 益 金	42,376,843,414
(D) 受 益 権 総 口 数	42,322,152,424口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	20,013円

※当期における期首元本額58,873,752,570円、期中追加設定元本額1,415,106,157円、期中一部解約元本額17,966,706,303円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

グローバルE V関連株ファンド(為替ヘッジあり)	4,815,913,195円
グローバルE V関連株ファンド(為替ヘッジなし)	35,269,175,244円
SMDAM・グローバルE V関連株ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	2,237,063,985円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。

■ 損益の状況

(自2023年1月24日 至2024年1月23日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,324,516,270円
受 取 配 当 金	1,233,280,236
受 取 利 息	91,747,318
支 払 利 息	△ 511,284
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	14,204,216,078
売 買 益	26,658,960,877
売 買 損	△12,454,744,799
(C) そ の 他 費 用 等	△ 49,434,381
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	15,479,297,967
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	44,392,328,700
(F) 解 約 差 損 益 金	△19,043,958,500
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,549,175,247
(H) 合 計(D + E + F + G)	42,376,843,414
次 期 繰 越 損 益 金(H)	42,376,843,414

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。